

図書館

としよだより

だより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

※図書イベント情報は、32ページの行事予定へ掲載しています。



図書館・図書室の利用カードが統一されます。このカード1枚で市内図書館・図書室の本を借りることができます。まだお持ちでない人はぜひ作っててください。

新着・お薦め図書

マジックツリーハウス

マジックツリーハウスとは、木の上にある「魔法の家」のことです。その家の中にたたくさんの本があります。本を開くと、どうなると思いますか？色んな世界へ行けるのです！私が一番好きな「嵐の夜の幽霊海賊」を紹介します。

ある日、主人公のジャックとアニーは一冊の本を開き、音楽はつしよの地であるニューオーリンズへ行きます。そこで少年時代のレイ・アームストロングに出会います。後にジャズの王さまと呼ばれる彼ですが、ちょうどその時、音楽の道へ進むことをあきらめ



山田響姫さん (隈府小6年)

メアリー・ポープ・オズボーン 著

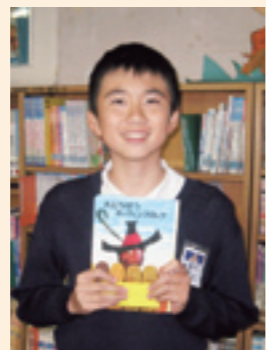
うとしていました。ジャックとアニーは彼を引きもどそうとしますが、その日は一年で一番幽霊の出る日と言われている。

この続きがきになる人は、ぜひマジックツリーハウス28巻嵐の夜の幽霊海賊を読んでみてくださいね。

大どろぼうホットエンプロッツ プロイスラー 作

大どろぼうホットエンプロッツを知っていますか。ぼくはこの本が大好きです。

この本は国際アンデルセン賞をとったプロイスラーさんが作ったお話です。ゆかいな大どろぼうホットエンプロッツが新式のコーヒーひきをぬすんでいきます。そしてホットエンプロッツをつかまえようとする勇敢な二少年が大活躍します。それでも、なかなかホットエンプロッツはつかまらないうでした。そしてホットエンプロッツがわるいことをした日には、新聞にのらないことがないのですが。さて、ホット



宮本浩太郎さん (隈府小6年)

ツエンプロッツはつかまるのか、つかまらないのか？それは読みながらのおたのしみです。文も工夫して書いてあるのでスリルとユーモアにあふれ、面白さは抜群です。

この本をぜひ読んでみませんか。心を楽ませてくれるお話ですよ。

耳より情報

リサイクル本を配布します

2月12日(土)開催の生涯学習フェスティバルで、図書館(室)で使用できなくなった図書や雑誌のバックナンバーをリサイクル本として無料で配布します。本を入れる袋などは持参してください。

なお、当日は中央公民館駐車場の混雑が予想されます。ご迷惑をおかけしますが、予めご了承ください。

と き 2月12日(土)午前9時～ ※なくなり次第終了

ところ 菊池市文化会館小ホール入口

図書情報管理システムが導入されます

2月4日(金)から図書情報管理システムが各公民館図書室にも導入されます。これに伴い図書の利用者カードが泗水図書館のカードと統合され、各図書室の旧カードは使用できなくなります。泗水図書館のカードを持っていない場合は各公民館図書室でも作ることができます。必ず住所が確認できるもの(運転免許証や郵便物など)をご持参ください。

今後は泗水図書館の利用カード1枚で市内図書館・図書室を利用できます。貸出期間は15日間で1人10冊までです。

肥後狂句桜会 12月例会

サンタ曰く 近頃は子も騙されん
 辻 弘喜
 いらっしやい 夢が実った開店日
 藤野 清子
 しよのむな お前の顔が味のある
 光掘 善教
 ちよっとどま 塩気の無かと旨んな
 上村 ○子
 いらっしやい 看板入れてさし向か
 小川 繁美

肥後狂句水笑会 12月例会

大掃除 明日明日で後が無ア
 中島 五女
 塩分控え 戦前派にはむずかしか
 平井 江彩
 朝昼晩 飲んでどこそこそせちきた
 柏原 乗仏
 朝昼晩 続けてカレー食う夫
 宮上 美由
 塩分控え 味もそっけも無アごたる
 吉岡 三水

せせらぎ俳句会 12月例会

きな臭い戦の匂ひ年暮るる
 寺本 和子
 師走風暫し足湯の刻を得し
 藤本 邦治

年用意捨てることより始まりぬ

服部 静子
 寒雀ひんやりとした空氣切る
 渡辺 一史
 大地より生ずる霽に霜輝やく
 渡辺 大寿

万句の里俳句会 12月句会

一巡も二巡もしたき菊花展
 隈部 輝子
 北風にほろりよろめく齡かな
 田島 房子
 冬うらら城山巡り納め句座
 加藤 妙子
 寒禽の声の鋭き朝かな
 北村 妙子
 枯尾花風の乱れを風が解く
 平山 邦子

旭志文芸俳句会 12月詠草

山茶花や孫は嫁しづく隣県
 東 芳子
 友の計のとどきし夜の虎落笛
 芹川のり子
 日当りを追ひて転がる小豆干す
 芹川 蓉子
 冬うららけふの鞍岳もよう替え
 水谷 ミネ
 薄味のなますは柚子で仕上げけり
 中尾ヨシコ

七城短歌会 12月詠草

うす紅の花咲くさざん花目に沁みる
 外出許可なる帰宅の木戸に
 斎藤 芳子
 風の中のグランドゴルフ加減して叩
 きし玉は落葉とまろぶ
 高木 精
 ペタル踏み「集い」に向かう河川道闇
 に水鳥飛び立ち驚く
 池田カツ子
 小春日に掃除をせむと来し御墓若く
 に戦死し父哀れむ
 水田紗陽子
 球技終え帰りの車窓にポツポツと葱
 ひき予定狂わす雨降る
 佐々 重弘

泗水短歌会 12月詠草

庭の楓褪せていつしか散り終り秀先
 に朝の霜露光る
 大島 きと
 流行の皇帝ダリヤの初咲きを供花に
 と思えど今朝は大霜
 平嶋きくえ
 終は冬の魁ましるなる雪を積みつつ
 花びら零す
 福原美智子
 夕焼の空紅あかと山の端に沈み朱色
 の満月浮ぶ
 中山 定子
 旨味増す乾燥野菜思いつつピーマン
 人參 蕪も干したり
 高藤タツノ

泗水短歌会は、
 今月号で終了します。
 長い間ありがとうございました。



里短歌会 12月詠草

ドライブの一日を八十路の夫とわれ
 冬の夕日は車窓に沈む
 山城 静子
 波荒れて船酔いの友静かなり目指し
 て行くに屋久島はるか
 緒方 悦子
 秋の野に摘みきしなすな母子草卓に
 残して孫は帰りぬ
 松本 和子
 小春日に色も香りも上出来に味噌を
 掻き終え今年も暮るる
 上田 安代
 音たかく落ちて流るる温泉のいかほ
 どなりや我が裡の量
 宮本 淑子

